

奈良県立病院機構 業務実績評価結果一覧表(H26年度～H28年度)

注)H28年度は法人自己評価を記載

○中項目評価について

- S 年度計画を上回って実施している
- A 年度計画を十分に実施している(達成度がおおむね90%以上)
- B 年度計画を十分には実施していない(達成度がおおむね60%以上90%未満)
- C 年度計画を大幅に下回っている。又は、年度計画を実施していない(達成度がおおむね60%未満)

I. 患者にとって最適な医療の提供

中項目	取組項目	評価結果		自己評価
		⑥	⑦	⑧
1 全職員が一体となって中期目標を達成すること	(1) 中期目標の達成に向けて、全職員が一体となって取り組む組織文化を醸成する	B	B	B
2 患者が満足する医療サービスの提供	(1) ホスピタリティマインドの向上を図る	A	A	A
	(2) 患者に対する適切な医療情報の提供			
	(3) 患者が治療に専念できる環境を充実させる			
3 断らない救急の実現	(1) 受入体制の構築	A	A	A
	(2) 人材の確保、養成			
	(3) 院内後方支援・連携体制の整備			
4 質の高いがん医療	(1) 手術療法、放射線療法、化学療法などがんの集学的治療の提供	A	A	A
	(2) 早期がんだけでなく他病院では診ることができない進行がんにも対応			
	(3) 地域がん診療連携拠点病院としての機能の発揮			
	(4) 人材の確保、養成			
5 周産期医療体制の強化	(1) 24時間365日のハイリスク妊産婦及び新生児の搬送受入を可能とする体制の強化	S	A	A
	(2) 西和医療センターにおける産科の再開			
6 小児医療体制の整備	(1) 小児救急機能の強化	A	A	A
	(2) 人材の確保、育成			
	(3) 地域の他病院との連携を強化する			
7 リハビリテーション機能の充実	(1) 急性期については、総合医療センター・西和医療センターにおいて、回復期にかけては総合リハビリテーションセンターにおいて役割を担当	A	A	A
	(2) 発達障害児に対する感覚統合療法の充実			
	(3) 障害児(者)に対する外科的治療の充実			
8 高齢者を対象とした医療体制の整備	(1) 【運動器】法人内の病院における役割分担	A	B	A
	(2) 【糖尿病】チーム医療の活動強化			
	(3) 【糖尿病】人材の確保、養成			
	(4) 【糖尿病】地域の医療機関へのサポート			
9 医療安全・院内感染の防止	(1) 法人における医療安全管理体制の確立	A	A	A
	(2) 3病院合同の事例検討発表会の実施			
10 新病院整備の推進	(1) 新総合医療センターの整備	B	B	B
	(2) 新西和医療センターの整備等			
	(3) 看護専門学校統合校の整備			
	(4) 3病院共通の電子カルテシステム整備			

II. 県民の健康維持への貢献

中項目	取組項目	評価結果		自己評価
		⑥	⑦	⑧
1 県内の医療機関との連携・協力体制の充実	(1) 地域医療支援病院としての機能強化	A	A	A
	(2) 退院調整会議の充実			
	(3) 地域包括支援センターとの連携強化			
2 県内の医療レベル向上に向けた支援	(1) 教育研修センターにおいて県内の医療機関に開放した研修の実施	A	A	A
	(2) 県内の医療機関への施設・設備の開放			
3 災害医療体制の強化	(1) 災害対応体制の充実	A	A	A
	(2) 人材の育成			
	(3) 災害発生時における県との円滑な連携			
	(4) 新病院における感染症病床の整備、受入体制の構築			
4 県民への医療・健康情報の提供	(1) 臨床指標を含む情報の公開・発信	A	A	A
	(2) 広報担当者の配置			
	(3) 公開講座の実施			
5 県が実施する健康長寿のまちづくりへの支援	(1) 平松周辺地域でのまちづくりへの参画	B	B	B
	(2) 西和地域でのまちづくりへの参画			

III. 最高レベルの医の心と技をもった人材の確保、育成

中項目	取組項目	評価結果		自己評価
		⑥	⑦	⑧
1 最高レベルの医と心をもった人材の確保、育成	(1) ホスピタリティマインド醸成研修の実施	A	A	A
	(2) ワークライフバランスの実現			
2 最高レベルの医と技をもった人材の確保、育成	(1) 教育研修センターの設置と充実	A	A	A
	(2) 看護専門学校の教育内容、教育体制を充実する			

IV. 自立した経営

中項目	取組項目	評価結果		自己評価
		⑥	⑦	⑧
1 権限と責任を明確にしたガバナンス体制の確立	(1) 経営企画機能の強化	A	B	A
	(2) 中期計画・年次計画の適正な実施			
2 経営に対する責任感をもって業務改善に取り組む組織文化の醸成	(1) 組織アイデンティティ・ロイヤリティの確立	B	B	B
	(2) 法人に関する情報の発信・共有による経営参画意識の向上支援			
	(3) 成功を認め、讃える組織文化の形成			
3 医療制度等の変化への迅速・柔軟な対応と自立した財務運営	(1) 経常収支比率を高い水準で維持する	C	C	C
	(2) 内部留保を確保する			